

各関係機関の長
殿
各病害虫防除員

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

令和8年度病害虫防除情報第8号

サトイモ疫病について、各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

県内のサトイモ栽培ほ場において、疫病の発生が確認されています。今後の発生に注意して適切な防除を行ってください。

1 作物名 サトイモ

2 病害虫名 疫 病

3 発生状況（経過）

- (1) 県内の一部地域のサトイモほ場において、疫病が確認されている。
- (2) 感染すると葉や葉柄に病斑が発生し（図1）、病斑が拡大すると、収量の低下につながる。
- (3) 例年、7月から8月にかけて急速に蔓延する（図2）。特に中晩生種では、今後台風や降雨によって、発生が助長され急激に拡大するおそれがある。



図1 感染した株の病斑（葉、葉柄）

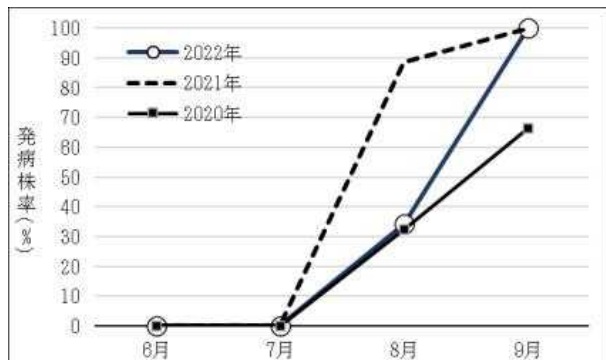


図2 過去巡回調査における発病株率の推移

4 本病の特徴

本病の病原菌である *Phytophthora colocasiae* は 27～30℃ で最も良く増殖することから、夏期に曇雨天日が続くと急激に蔓延する。葉や葉柄上の病斑に形成した遊走子または遊走子のうが風雨により周囲へ飛散し、二次感染が起こる。

5 防除上の注意

- (1) 排水不良のほ場では発生が助長されるので、ほ場外への排水を促すため、排水用の溝を必ず確保する。
- (2) 薬剤散布に当たっては必ず展着剤を加用し※、株元まで十分量を散布する。
※注意：高温時の散布は薬害を生じることが確認されているので、日中の気温が高い時間の散布はできるだけ避ける。
- (3) 同じ成分の殺菌剤を連用すると耐性菌が発生するリスクがあるため、異なる作用機作の殺菌剤をローテーション散布する。
- (4) 発病前からの定期的な薬剤散布が防除効果を向上させる。ほ場をこまめに巡回し、

発病前はマンゼブ水和剤、シアゾファミド水和剤、銅水和剤及び炭酸水素ナトリウム・銅水和剤による予防散布を実施する。発生初期から治療効果のあるオキサチアピプロリン・マンジプロパミド水和剤、アミスルブロム・シモキサニル水和剤、ピカルブトラゾクス水和剤、アゾキシストロビン水和剤及びベンチアバリカルブイソプロピル・マンゼブ水和剤を散布する。

散布にあたっては、使用時期（収穫前日数）を必ず確認すること（表1参照）。

（5）防除体系などの詳細については、ひなた MAFIN に掲載されている「サトイモ疫病対策マニュアル（2024 年版）」を参照。

(https://hinatamafin.pref.miyazaki.lg.jp/soshiki/noshi_byogai/2287.html)

表1 サトイモ疫病に対する登録農薬（令和8年7月27日現在）

薬剤名	商品名	希釈倍数	散布液量	使用方法	使用回数	使用時期
マンゼブ水和剤 ^{※1}	ベンコゼブ 水和剤	500倍	100-300 L/10a	散布	2回以内 ^{※1}	収穫7日前まで
	ジマンダイセン 水和剤 ^{※2}					
	マンゼート 水和剤					
ベンチアバリカルブイソプロピル・マンゼブ水和剤 ^{※1}	ベネセット 水和剤 ^{※2}	1,000倍	100-300 L/10a	散布		収穫7日前まで
	カンパネラ 水和剤 ^{※2}					
銅水和剤	ICボルドー 66D ^{※2}	100倍	100-300 L/10a	散布	—	発病前～発病初期
	フジドーL フロアブル	500倍			—	発病前～発病初期
炭酸水素ナトリウム・銅水和剤	ジーファイン 水和剤 ^{※2}	1,000倍	150-500 L/10a	散布	—	収穫前日まで
シアゾファミド水和剤	ランマン フロアブル ^{※2}	2,000倍	100-300 L/10a	散布	2回以内	収穫前日まで
オキサチアピプロリン・マンジプロパミド水和剤	オロンデイス ウルトラSC	2,000倍	100-300 L/10a	散布	2回以内	収穫7日前まで
アミスルブロム・シモキサニル水和剤	ダイナモ 顆粒水和剤 ^{※2}	2,000倍	100-300 L/10a	散布	3回以内	収穫21日前まで
ピカルブトラゾクス水和剤	ビシロック フロアブル ^{※2}	1,000倍	100-300 L/10a	散布	3回以内	収穫前日まで
アゾキシストロビン水和剤	アミスター20 フロアブル ^{※2}	2,000倍	100-300 L/10a	散布	3回以内	収穫14日前まで

※1 マンゼブを含む農薬の総使用回数（2回以内）に注意する。

※2 無人航空機による散布も登録されているおり、使用の際は登録内容を確認する。

6 その他

6月1日から8月31日までの3か月間、農薬危害防止運動を実施します。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病害虫防除・肥料検査課
（病害虫防除・肥料検査センター） 山之内、後藤
TEL：0985-73-6670 FAX：0985-73-2127
E-mail：byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp
HP：https://hinatamafin.pref.miyazaki.lg.jp/soshiki/noshi_byogai/index.html

